



令和4年度横浜市立大学データ思考イノベティブ人材フェローシップ

# 合同研究発表会

■日時：令和5年2月17日(金) 13時～17時 (終了後、懇親会予定)

■場所：横浜市立大学みなとみらいサテライトキャンパス

および Zoomのハイブリッド開催

## プログラム

<1部>：令和4年度採択者(2期生) 研究発表 7分 質疑応答 3分

※2期生(博士後期課程1年 / 医学研究科博士課程2年)

1. グローバル時代における中国人海外移住—福清出身留学移民を中心に—
2. 家計の消費行動：医療費支出や感染症まん延下のデータを用いた分析
3. 先端質量分析を用いたモノテルペン酸化体のOn-line官能基解析法の開発
4. 細胞外タンパク質を分解できるペプチド型LYTACの合理的設計
5. 定量プロテオミクスを用いたヒト人工多能性幹細胞の心筋分化制御因子の探索
6. ヒト多能性幹細胞の肝細胞成熟過程における細胞接着分子等の糖鎖の機能の解明
7. 機械学習モデルにおける解釈手法の研究
8. 空間分布推定および時空間動的予測を用いた横浜市における救急隊の配置の最適化

<2部>：令和3年度採択者(1期生) 研究発表 7分 質疑応答 3分

※1期生(博士後期課程2年 / 医学研究科博士課程3年)

1. 地域ブランド桃「城山溝」の形成と農民専業合作社の機能
2. 胸腺上皮細胞における増殖サブセットの特徴解析
3. 創薬・新規治療法の基盤となる対象タンパク質の構造生物学的研究
4. 脂肪組織から見た腹膜炎制御メカニズムの解明
5. 家族性血小板異常症から急性骨髄性白血病への進展メカニズムの解明
6. 死後CTによる頸髄周囲血腫の検討
7. 新規 *in situ* ビオチン化法によるカハール体構成因子の網羅的同定とその形成機構の解明
8. AMPA受容体を介した精神疾患・発達障害の疾患横断的研究

<ディスカッション> 40分 2期生によるディスカッション

テーマ：データサイエンスの力を解き放つ：データ駆動型研究の可能性を引き出して

<懇親会>

参加企業と学生・教員との懇親会

令和3年度  
合同研究発表会



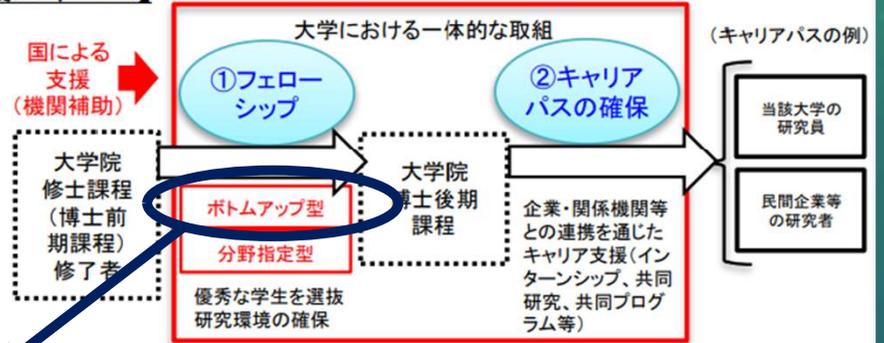
横浜市立大学データ思考イノベティブ人材フェローシップ事業に採択された16名が、1年間の研究成果を英語にて発表いたします。※日本語同時通訳あり

文部科学省は、博士後期課程における経済的な不安と研究者の将来のキャリアパスが不透明であり、博士後期課程に進学する学生が減少傾向について、日本の将来の科学技術イノベーションの空洞化が強く懸念されることから①博士後期課程学生の処遇向上、②キャリアパスの確保として本事業を創設。

## 文部科学省

### 科学技術イノベーション創出に向けた大学フェロシップ創設事業

#### 【支援スキーム】



#### ボトムアップ型：

大学の強みや地域の強みを生かしたイノベーション創出等が見込まれる人文・社会科学を含む幅広い分野を大学が提案

#### 分野指定型：

産学を通じて、人材ニーズの高まる分野（情報・AI・マテリアル等）を国が指定

本学では、本学の特長を活かし、**データをもとに事象を適切に分析・説明できる素養と技能（データ思考）**を持ち、各学問領域の知見を基礎に新たな価値を創出し、**社会の「質」をより豊穡なもの（スマート健康社会）**にするイノベティブ人材を大学院6研究科の博士後期課程（博士課程）の教育資源を活用した事業を提案し、採択。

## 横浜市立大学

### データ思考イノベティブ人材フェロシップ

#### 6研究科連携

#### ●事業内容

- 博士後期課程学生のキャリアパス支援・研究支援

#### ●対象者：8名/学年（最大3年間支援）

- 大学院6研究科博士後期課程に在籍（社会人は収入制限あり）
- 研究課題が「健康社会研究」に即し、研究手法が「データ思考」であるもの
- 社会に新たな価値をもたらす、イノベーションを誘発する可能性が高いもの
- 文理融合的要素、学際的要素を含んでいるもの
- ※他給付金受給者・国費留学生等は対象外

#### ●事業の主なプログラム

- 奨学金（生活支援金:年額180万円、研究費:年額20万円）を支給**
- 研究力向上・キャリアパス支援（講座、インターンシップ、共同研究の実施）
- キャリアパス確保（ポスト構築、交流会、インターンシップ先の開拓）
- 合同研究発表会の実施
- ※インターンシップ・支援講座・研究発表会等への参加必須



▼問い合わせ先：データ思考イノベティブ人材フェロシップ事務局  
TEL：045-787-8946  
E-mail:fellowship@yokohama-cu.ac.jp